

プラズマ・核融合学会誌

第87巻第6号

2011年6月

講 座	電磁波を用いたプラズマ診断の基礎と最前線	
	3. 先進計測技術・最近の進展	
	3.1 マイクロ波イメージング	長山好夫, 吉永智一, 近木祐一郎 339
	3.2 ドップラー反射計	徳沢季彦, 江尻 晶 345
	3.3 散乱計測	久保 伸, 田中謙治, 西浦正樹 350
研 究 論 文	LHDにおけるマイクロ波イメージング計測の開発	
	 長山好夫, 吉永智一, 桑原大介, 山口聡一朗, 濱田泰司, 伊藤直樹, 伊藤康彦, 近木祐一郎, 間瀬 淳, 石 中兵, 杉戸正治, 土屋隼人, 飯尾俊二, LHD実験グループ	359
プロジェクトレビュー	「非平衡極限プラズマ全国共同連携ネットワーク研究計画」が拓くプラズマ物理	
	 伊藤早苗, 兒玉了祐, 藤澤彰英, 佐藤元泰, 田中和夫, 畠山力三, 伊藤公孝	371
プロジェクトレビュー	逆磁場ピンチ研究の歴史, 現状, その展望〜産業技術総合研究所の逆磁場ピンチ研究の 終結にあたって〜	平野洋一, 榊田 創, 小口治久 382
インフォメーション		412
	【東日本大震災関連】	
	東日本大震災における那珂核融合研究所の被災状況と対応状況	
	幅広いアプローチ活動だより ⁽³⁰⁾	
	ITPA (国際トカマク物理活動) 会合報告 ⁽³²⁾	
	【人事公募】	
Plasma & Fusion Calendar		422
本 会 記 事		423
	PLASMA2011・第28回年会一般講演の募集／若手優秀発表賞について	

表紙の絵

テーパ状のキャビラリー中でのZピンチ放電を利用して, 実験室宇宙プラズマに関わる高速高密度のプラズマを生成する. キャビラリー中の電流シートはZ方向に連続的にピンチし, プラズマを半径方向に圧縮しながら, 軸方向に加速させることができる. キャビラリー形状, キャビラリー内の初期ガス密度, 放電電流波形で決まるガスの出入り口でのピンチ時間差がプラズマの速度と密度を制御する目安になる. (Koichiro ADACHI *et al.*, Plasma and Fusion Research Vol. 6, 1201019 (2011) <http://www.jspf.or.jp/PFR/>)

【複写をされる方へ】本学会は, 本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しています. 本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は, (社)学術著作権協会より許諾を受けてください. 但し, 企業等法人による社内利用目的複写については, 当該企業等法人が社団法人日本複写権センター(社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては, その必要はありません(社外頒布用の複写については許諾が必要です).

権利委託先: 一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052東京都港区赤坂9-6-41乃木坂ビル 3F Tel: 03-3475-5618 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾(著作物の引用, 転載, 翻訳等)に関しては, (社)学術著作権協会に委託しておりません. 直接当学会へお問い合わせください.